

活動のタイトル

「園芸で心を豊かに」 市街化区域で花作りー

静岡県 芝原初枝

活動の背景と目的

静岡市の中心街で育った私は、幼いころから体が弱く、幼稚園学校も休みがち、いつも家の中に居るという生活をしていました。それがどういうわけか、農家の長男と結婚。と同時に農業に携わり始めました。

最初のころは、太陽の光がまぶしくてサングラスが離せませんでした。でも野菜や花作りをやっているうちにだんだん丈夫になり、5人の子どもにも恵まれました。私がこんなに健康になったのは、太陽の光、いい空気、いい水[地下水利用]、そしていつも触っている土や植物のおかげだと実感しました。

太陽の下で働き植物と接することが、自分や家族の心と体に健康をもたらしてくれていると感謝しています。

大地から得るこの幸せを多くの人に味わってもらいたいという思いから、各種学校生徒の体験学習受け入れや、介護老人保健施設への協力を行っています。



活動の内容

静岡市の東名高速道路インターチェンジのすぐ近く、市街化区域のなかで切花栽培を中心とした専業農家を33年営んでいます。今のところは芝原農園一同で可能な限り、各方面から依頼を受けた実習生の受け入れや、各種学校や施設への協力を行っています。主なものは、

- ・ 各種機関から頼まれた実習生の受け入れ / 県立農林大学校生、県立農業高校生徒、タイ王立メジョー大学 [農業大学] 学生 (ホームステイと実習) インドネシアからの留学生 [静岡大学大学院生]、県立看護学校の生徒、市内公立中学校の体験学習など



- ・ 各施設 (授産所・病院・介護老人施設・学校・幼稚園など) へ花や野菜の苗、切花、ドライフラワーの寄付
- ・ 介護老人施設 [萩の里] デイケア利用者の来園受け入れ

昨年、三重県で初級園芸福祉士養成講座を受講したことで、活動の仲間が増え、以後研修会など開いて勉強しあっています。今年度は、静岡で同講座が開催され、わが農園の活動協力者も、5人受講しています。

また、受講者の何人かは「静岡県いきいき農林業アドバイザー」の仲間なので、これからの活動には一段と弾みがつくと期待しています。

運営や体制)

- ・ 場所 静岡市西脇 1012-1 芝原農園
- ・ 規模 耕地面積 96アール
- ・ 施設 五連棟ビニールハウス 1棟 (11a)
単棟ビニールハウス 3棟 (5a)
露地 一つの畑を1年で2~3回作物を植え替えて使用 (80a)
- ・ 栽培作物 四季の草花・野菜など (100種類以上)
- ・ 労働力 家族2人、パート 5人~6人 [午前中のみ]
現在は、ヒト・モノは何とかなっていますが、どうにもならないのがカネです。生産の場としての機能しかなく、鉄の支柱、ネット、ホースは畑中に、あせ道もせまいし雑草だらけで、実習生や来園される高齢者や体の不自由な方にとっては、危険が多いのが現状です。
せめて車椅子が畑の途中まででも入れるようにするなど、来園者に合わせたの設備ができればと思うのですが、なかなかお金を捻出できないのが残念です。

地域との関わり

町の中で畑仕事をしているので、地元の人との交流は常にあります。そのため色々な事をあちこちから頼まれます。初級園芸福祉士になり、静岡県立聾学校のバザーに協力したのが発端で、耳に障害のある人と手話通訳を習っている61人を対象にフラワーアレンジメント実習の依頼がありました。

また、平成12年に県主催の「いきいき農林業アドバイザー」講座を受講したことから行政とのつながりができました。平成14年、県から園芸活動を通じ福祉の向上をめざす会、「しずおかユニバーサル園芸ネットワーク」の世話人の依頼があり、静岡県で認定を受けた4人の初級園芸福祉士と一緒に中心スタッフとして参加しています。

平成15年3月23日から活動を始め、7月13日に浜松で「花でつながる地域と人」というテーマでシンポジウムを静岡県と共催で開催しました。会場の花と司会は私が担当。花のセッティングは園芸福祉の活動の場と捉えて計画、準備をしました。オアシス2分の1を22個用意、それをセロファン、ラッピング用紙でキャンディのように包み、器としました。花は、浜松や静岡の生産者の方の協力を得て、安く提供してもらいました。

今まで、一度も花を生けた事のないスタッフ達が、器作りとアレンジに挑戦。出来上がった作品は舞台に飾りシンポジウム終了時に、抽選で参加者にプレゼントしましたが、これはみんなから喜ばれました。

また、行政の後押しもあって念願の初級園芸福祉士養成講座を12月から静岡市で開催しています。募集人数の3倍もの応募があったので、来期は2回の開講を予定しています。



現在「しずおかユニバーサル園芸ネットワーク」は、今年9月に開催予定の第4回園芸福祉全国大会の運営を担う市民グループとして活動中です。

これまで苦労した点や今後の課題

*カネ / 初級園芸福祉士になってから、実習生受け入れ要請が特に多くなりました。依頼者のほうは一回限りと思っても、当方にとっては常時面倒を見なければならない人が仕事場に居るという状態で、しかも、その費用は賄ってもらえない。熱意だけでは、どうにもならないのが現状です。

*行政の制度 / 芝原農園は市街化区域の中の農地なので税金は高いが、補助金などの援助は何もない。また、農地なので何かをやりたいと思っても規制が多すぎて、身動きできないという状況です。初級園芸福祉士を静岡県でも認定してもらうなど資格を社会で生かせるよう努力したいと思っています。

*パソコン / 仕事上、ハサミやクワは使い慣れているが、パソコンを使いこなすのは非常に難しいなと感じています。

その他

芝原農園は全部平地で、静岡駅からバスで10分と交通の便がいいです。また街の中に花畑があるので毎日多くの人が寄ってきます。

この地区には公園がありません。家からちょっと離れた場所に、遊歩道のついた小さい川と神社にはさまれた所に、当農園の15アールの農地があります。そこを園芸福祉の体験学習場所にして、農業で培った技術を福祉の場でも役立てられないかなと考えています。



*平成6年 社団法人日本フラワーデザイナー協会(NFD)一級試験に合格、以後フラワーデザイン講師。

*平成12年 静岡県いきいき農林業アドバイザー

*平成15年(2003年)初級園芸福祉士